

中国・四国地方

～しまなみ海道が尾道にどのような影響を与えたのか～

本校の育成する資質・能力

知識・技能

思考力・判断力・表現力

主体性・協働性

- 1 日 時 令和2年12月2日(水) 15:00～15:50
- 2 学年・学級 2年C組(男子19名 女子17名 計36名)
- 3 場 所 2年C組教室
- 4 単元について

単元観

本単元は、中学校学習指導要領 社会 地理的分野(3)日本の諸地域④に基づき設定した。

(3) 日本の諸地域

次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

- ① 自然環境を中核とした考察の仕方
- ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方
- ③ 産業を中核とした考察の仕方
- ④ 交通や通信を中核とした考察の仕方
- ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。

(イ) ①から⑤までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

「日本の諸地域」では、「次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。」としている。中学校学習指導要領解説社会編(平成29年)では、この中項目のうち、「④交通や通信を中核とした考察」については、「中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的

に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること」としている。

本単元では、高速交通手段の整備によって他地域との結びつきが深まった反面、その結果もたらされる経済的な地域の変容が発生する「ストロー現象」に関する考察を通して、多面的・多角的に考察させる構成となっている。

生徒観（調査結果等から見る課題）

令和2年度6月実施標準学力調査に以下のような問題が出題されていた。

グラフはこの問題の通過率を全国、校内と比較したものである。

7 1992年に、世界の重要な記録遺産の保護と振興を目的に、ユネスコによって開始された事業に、「世界の記憶」(世界記憶遺産)があります。これについて、次の問いに答えなさい。

(1) 次の資料アは、日本で登録されている世界記憶遺産のうちの「舞臺阿白記」の現代語訳、資料イは、同じ時期に書かれた「幕次部日記」の現代語訳、資料ウは、資料アの日記を書いた人物にかかわる系図を示しています。資料アの日記を書いた人物名と資料ア、イが書かれた文字の組み合わせとして正しいものを、資料ウを参考に、あとの1-4から1つ選びなさい。

資料ア

■ 娘の影と、一条天皇との間に皇子が産まれたときの日記
・九月十一日 藤原朝子さまが、午時に無事に男子をお産みになる。……
・九月二十五日 内裏に出仕する。一条天皇は、藤原朝子さまが皇子さまを連れて内裏に参入なさる目をお尋ねになる。……

■ 二尊目の娘、皇子が三条天皇の后となることが決まったときの日記
・正月三日 内裏に参入する。……「藤原朝子を皇后に尊立しようと思う。立行の儀を行うにふさわしい日を選べ」とのことであった。…… (部分要約)

資料イ

■ 一条天皇と、藤原朝子との間に皇子が産まれたときの日記
「藤原朝子さまは十月十日過ぎまで(朝子さまは)お休みどころから出なさらなかつた。西のそばにある御座所に(私たちは)お仕え申し上げる。殿が夜中も早朝にも若宮をご抱にならうとするので、(乳母が)安心して寝ているときなどは寝ぼけて目を覚ますというのをも、とても気の毒に思われる。 (部分要約)

資料ウ

系図(部分要約)

1 人物名…藤原朝子 資料ア…漢文 資料イ…かな文字
2 人物名…藤原朝子 資料ア…かな文字 資料イ…漢文
3 人物名…藤原道長 資料ア…漢文 資料イ…かな文字
4 人物名…藤原道長 資料ア…かな文字 資料イ…漢文

通過率

比較対象	通過率
全国	43
校内	41.7
クラス	41.7

本学級の生徒は、日頃から落ち着いて学習に取り組むことが出来ている。また、グループワーク等の活動でも、積極的に、事象について話し合い、課題に対してより良い解決策を見つけようと努力をすることができる。しかし、複数の資料を読み取る活動では、欠かせない部分を読み取り落してしまうなど、多面的・多角的に考察するという点に課題がみられる。また、令和2年度の標準学力調査においてもその課題が影響していることが読み取れる。この問題は、摂関政治と国風文化の理解をもとに、複数の資料を読み取り判断する問題である。難しい資料の読み取りがあるわけでもない。これは、複数の資料に関連付けて、結論を見いだす活動に慣れていないことが考えられる。また、本県の公立高校の入試問題は、ほとんどが複数の資料から解答を導き出していく問題であることから、克服していかなければならない。

(3) 指導観（指導改善のポイント）

本単元では、生徒に「ストロー現象」という事象を通して、高速道路や橋などの交通網が地域社会に与える影響に関して、多面的・多角的に考察させていきたい。そのために、「ストロー現象」の理解には二つの立場を設定する必要がある。まず、消費者の立場からは、社会資本の整備によって、移動時間の短縮等に表される交通の便がよくなり、交通にかかるコストがリーズナブルになり、消費の選択幅が広がるというメリットがある。逆に地元商店街などの小売店は、売り上げが下がり、他地域から出店してきた小売店との競争が激化し、衰退するというデメリットである。この両者の立場からの理解を生徒にさせたい。本単元では、瀬戸大橋と明石海峡大橋に関して学習したのち、生徒にとって最も身近であり、他の2本の橋に比べ、観光面が特徴的である、しまなみ海道に焦点化し、指導を行う。立場によって賛否が分かれる交通網の発達に関して、生徒がどの立場から、自分の考えを述べさせるかを考えさせることで、多面的・多角的な視点を身につけさせたい。また、生徒の課題である、多数の資料を読み取り、関連付けることが苦手な点に関しては、それぞれの資料のポイントを可視化させなど、ワークシートの工夫をすることで、生徒に課題について考えさせる補助をしていく。

単元の目標

- 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。【学びに向かう人間性】
- 中国四国地方において交通を中核に設定した事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けで多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。【思考力・判断力・表現力】
- 中国・四国地方の地域的特色を本州四国連絡橋や高速道路等の社会資本整備の影響を通して理解することができる。【知識・技能】

本校で育成を目指す資質・能力と評価規準との関わり

資質・能力	本校が育成を目指す資質・能力	本校が育成を目指す資質・能力を身に付けさせるための手立て
主体性・協働性	○地元の課題について、主体的に考えることができる。	・自分たちの身近にある、しまなみ海道を中心に考えることで、学ぶ必要性を感じさせる。
思考力・判断力 ・表現力	○交通網の発達が地域に与える影響について、多面的・多角的に考察し、自己の考えを表現する力。	・ワークシートの工夫をする。
知識・技能	○交通網が発達することによってもたらされるメリット・デメリットについての理解。	・視覚教材を使うことで理解を促す。

単元の評価規準

主体性・協働性	思考力・判断力・表現力	知識・技能
<p>① しまなみ海道が、尾道市に与えた影響について、自分事として考えている。</p> <p>② 「ストロー現象」が地元の尾道でも発生する事象であることに気づき、自分事として考えている。</p>	<p>① 交通網の発達が地域に与える影響について、多面的・多角的に考察し、自分の考えを述べる事ができている。</p>	<p>① 中国・四国地方の地形について、地図帳で読み取り、白地図に表す事ができている。</p> <p>② 交通が地域社会に与える影響について理解している。</p> <p>③ しまなみ海道がもたらす影響を複数の資料から読み取っている。</p>

指導と評価の計画

次	学習内容	評 価
		評価規準（評価方法）
単元を貫く問い 交通網の発達は中国四国地方にどのような影響を与えたのだろう。		
1	中国・四国地方の自然環境 ○地形・交通網 ○気候	中国・四国地方の地形について、地図帳で読み取り、白地図に表す事ができている。[知①]（ワークシート）
2	本州四国連絡橋がもたらすメリット ○経済効果 ○物流の促進	交通が地域社会に与える影響について理解している。[知①]（ワークシート）
3	本州四国連絡橋がもたらすデメリット ○ストロー現象	交通が地域社会に与える影響について理解している。[知②]（ワークシート）
4	しまなみ海道が尾道市に与える影響（1/2本時） ○しまなみ海道が関係地域にもたらしたメリット・デメリット	交通が地域社会に与える影響について理解している [知②] しまなみ海道がもたらす影響を複数の資料から読み取っている。[知③]（ワークシート、振り返りシート） 交通網の発達が地域に与える影響について、多面的・多角的に考察し、自分の考え述べる事ができている。[思①]（ワークシート・行動観察）

5	まとめ	<p>「ストロー現象」が地元の尾道でも発生する事象であることに気づき、自分事として考えている。[主①] (振り返りシート)</p> <p>交通網の発達が地域に与える影響について、多面的・多角的に考察し、自分の考えを、他者に伝わるように述べている。[思①] (振り返りシート)</p>
<p>単元を貫く問いの解決</p> <p>交通網の発達は、製品の輸送が簡単になることによる販路の拡大や、交通にかかるコストがリーズナブルになり、消費の選択幅が広がるというメリットがある一方、地元商店街などの小売店は、売り上げが下がり、他地域から出店してきた小売店との競争が激化し、衰退するというデメリットがあり、橋の開通などの交通網の発達が手放しで喜べるものではない。しかし、しまなみ海道では、サイクリングなどの観光資源に魅力があり、人を引きつける力があるため、ストロー現象の影響を受けやすい、島しょ部でも一定の経済効果を上げている。</p>		

本時の学習

- (1) 本時の目標 交通網の発達が地域に与える影響について、多面的・多角的に考察し、自分の考えを述べている。 (思考力・判断力・表現力)
- (2) 準備物
教科書、ワークシート、プロジェクター、ホワイトボード
- (3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 (評価方法)
1 既習事項の確認。		
前時の確認	◇前時までに作成したワークシートを準備させる	
2 めあての確認		
めあて：交通網の発達が地域社会に与える影響について理解できる。		
3 本時の課題を確認する		
学習課題：しまなみ海道は尾道市にどのような影響を与えているか、複数の資料をもとに、立場を決めて、その理由を説明しよう。		
4 本時の課題の予想を立てる		
これまでの学習を活かし、し	◇これまでの学習を根拠に書かせる	

<p>まなみ海道が尾道市にどのような影響を与えているか、予想を立てる。</p>	<p>◇違う考えの予想を3人程度発表させる (意図的指名)</p>							
<p>5 資料の確認</p>								
<p>本時の資料の内容を確認する。</p>	<p>◇しまなみ海道の経済効果や人口流出に関する資料の確認をする</p>							
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="280 562 624 595">資料1 人口に関する資料</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 607 959 640">資料2 しまなみ海道開通によるレモン収穫量の増加</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 651 815 685">資料3 しまなみ海道移住者に関する資料</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 696 616 730">資料4 観光に関する資料</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 741 927 775">資料5 尾道港フェリー年間利用客数に関する資料</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 786 616 819">資料6 学校に関する資料</td> </tr> </table>			資料1 人口に関する資料	資料2 しまなみ海道開通によるレモン収穫量の増加	資料3 しまなみ海道移住者に関する資料	資料4 観光に関する資料	資料5 尾道港フェリー年間利用客数に関する資料	資料6 学校に関する資料
資料1 人口に関する資料								
資料2 しまなみ海道開通によるレモン収穫量の増加								
資料3 しまなみ海道移住者に関する資料								
資料4 観光に関する資料								
資料5 尾道港フェリー年間利用客数に関する資料								
資料6 学校に関する資料								
<p>6 情報を整理・分析し、課題解決をする。</p>								
<p>しまなみ海道に関する資料を読み取り、課題に対する自分の考えを文章化していく。(個人)</p>	<p>◇複数の資料を、できるだけ多く組み合わせ、説明するようにさせる。</p> <p>◆書き方の型を提示する</p> <p>「しまなみ海道は・・・だが、○○という課題もある。しかし、□□を生かして、島しょ部でも経済効果を与えている。」</p>	<p>・しまなみ海道がもたらす影響を複数の資料から読み取っている。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>★知識・技能</p>						
<p>7 小集団活動</p>								
<p>四人グループで、自分のまとめを順番に発表する。</p>	<p>◇他の生徒の重点に置いているポイントを色ペンで記入させる。</p> <p>◇机間指導で3名程度、良い視点をしている生徒をピックアップしておき発表させる。</p>	<p>・交通網の発達が地域に与える影響について、多面的・多角的に考察し、自分の考えを述べることができる。</p> <p>【行動観察】</p> <p>★思考・判断・表現</p>						
<p>8 個人思考</p>								
	<p>◇活動7で得た視点を新たに取り入れ、最終的なまとめを記入する。</p>	<p>・交通網の発達が地域に与える影響について、多面的・多角的に考察し、自分の考えを述べること</p>						

		<p>ができています。</p> <p>【行動観察】</p> <p>★思考・判断・表現</p>
9 本時の振り返り。		
振り返りを記入する。	◇他の生徒の考えを聞き、深まった点など、高西中学校の振り返りの仕方に沿って振り返りを記入する	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習で、しまなみ海道もストロー現象が起き、島などの田舎では、人口流出が起こり、社会的・経済的な打撃を与えると考えていたが、サイクリングの観光資源は人を引きつける力があり、島にも経済にプラスの働きをすることがわかった。 ・しまなみ海道は、他の2本の橋、と違い、観光面の影響が強くなることを見つけ、まとめることができた。今後は、他の高速道路なども同じような現象を引き起こすのか調べてみたい。 </div>		

めあてに対する評価規準を示すルーブリック

尺度(評点・レベル)	記述語
A(理想的)	複数の資料を関連付け、メリット・デメリットを踏まえた上で、さらに、しまなみ海道では島しょ部の観光資源が有用であるため、ストロー現象を単純に当てはめることが出来ないことに着目したまとめができています。
B(合格)	複数の資料を関連付け、メリット・デメリットを踏まえ、結論を導きだしている。
C(乗り越えさせたい実態)	複数の資料の関連付けができていない。